

# 平成 23 年度上半期レポート

## 小松川信用金庫の現況

平成 23 年 4 月 1 日 ▶ 平成 23 年 9 月 30 日



## ごあいさつ

皆様方におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より**こましん**に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成23年度上期の日本経済は、本年3月に発生した東日本大震災により、企業の経済活動に大きな支障が及びましたが、サプライチェーンの復旧による供給制約の解消により、景気は着実に回復傾向にあります。しかしながら、地域の中小零細企業においては依然として厳しい状況が続いており、景気回復を実感するまでにはかなりの時間を要すると思われまます。

当金庫においても、厳しい経営環境が続いておりますが、地域の皆様の温かいご理解と力強いご支援を得て、積極的に事業を展開してまいりました。

平成23年度上期実績につきましては、預金残高は期中増加2,866百万円と順調に推移しました。一方、貸出金残高においては、取引先企業における事業性資金や個人の住宅関連資金の資金需要減退等も影響し、46百万円の期中増加にとどまり、その結果、利益面では厳しい経済環境を反映して前年同期比では70百万円減少し、当期純利益104百万円の計上となりました。

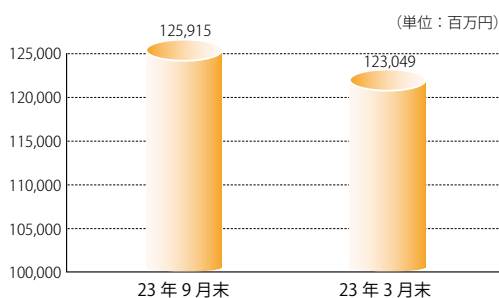
本冊子は、**こましん**の経営内容・地域貢献活動等についてご理解を一層深めていただくため作成したものです。是非ご高覧いただければ幸いです。今後とも尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 業績の概況

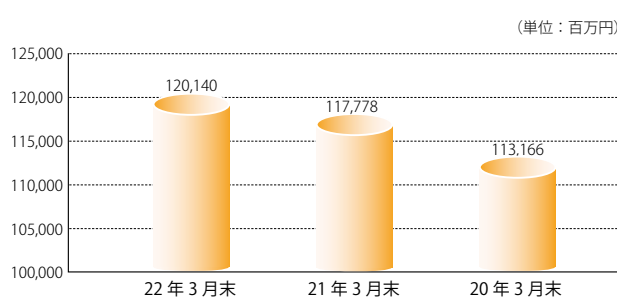
### ❖ 預金の推移

23年9月末は、23年3月末と比べ2,866百万円（2.32%）増の125,915百万円となり、順調に推移しています。

#### ◆ 23年度上期の預金残高状況



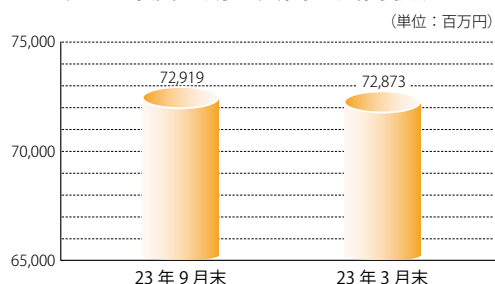
#### ◆ (参考) 預金残高の推移



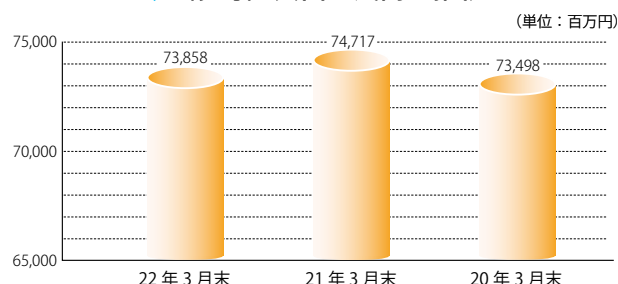
### ❖ 貸出金の推移

23年9月末の貸出金残高は、「震災復旧特別融資制度」等の積極的な推進を図りましたが、景気低迷による資金需要の減退から伸び悩みが見られました。23年3月末と比べ46百万円（0.06%）増の72,919百万円となりました。

#### ◆ 23年度上期の貸出金残高状況



#### ◆ (参考) 貸出金残高の推移



### ❖ 損益の状況

厳しい経営環境を反映して平成23年9月末の「損益の状況」は、前年同期を下回っていますが、年度事業計画に沿った堅調な推移となっています。

(単位：百万円)

	平成23年9月末	平成23年3月末	平成22年9月末
コア(基礎)業務純益	77	262	117
業務純益	77	291	142
経常利益	119	135	130
当期純利益	104	312	174

今後もお客様により良い金融サービスをご提供できるよう、利益の拡大に努めてまいります。

## お客様へのメッセージ

### こましんは、「融資専心」の姿勢を貫き通します。

こましんは、いつのときも「地域貢献バンク」でありたいと考えています。

各種事業資金や住宅購入・リフォーム資金、教育資金・車購入などの消費資金のご要望にお応えすべく様々な融資商品を取り揃え、地域の皆様の事業や暮らしのお役に立てるよう「融資専心」の姿勢を貫いてまいります。

今後も引続き、地域の皆様からお寄せいただくご要望に真摯にお応えしてまいります所存です。是非、お気軽にご相談ください。

### こましんは、「経営改善支援」にも力を注いでいます。

こましんは、経営改善支援にも誠心誠意取り組んでいます。本部企業支援専担部署と営業店との連携による経営改善支援活動のほか、外部中小企業診断士との連携による経営改善支援にも取り組んでいます。

また、東京都や経済産業省等の外部機関が持つスキームを活用しながら、より専門性・実効性の高い相談業務体制の構築に努めています。まずは各地区の得意先担当者やお近くの店舗窓口にご気軽にご相談ください。

### こましんの経営内容は健全です。

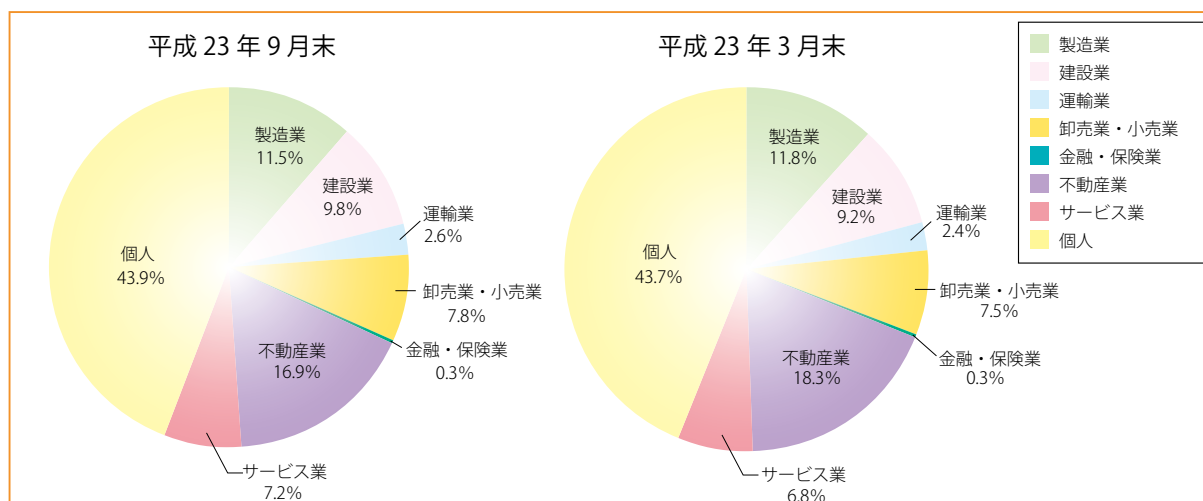
平成23年度上半期は厳しい経営環境の下、前年同期比では減少となりましたが、当期純利益を104百万円計上することが出来ました。収益における経営計画値を上回るとともに、自己資本比率も10.85%と国内基準の4%を大幅に上回り、経営内容は健全性を堅持しております。

今後も、永年に亘り培ってきました健全堅実な経営姿勢を貫いてまいります。



## ◆貸出金の業種

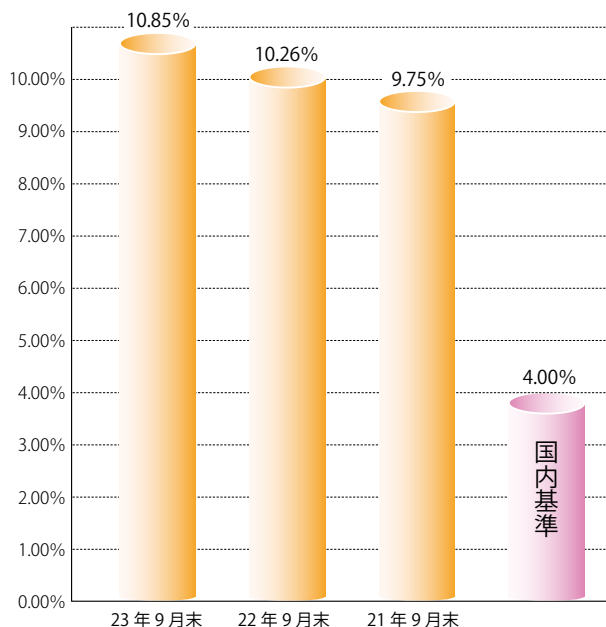
個人のお客様が4割強を占めていますが、その他は特定の業種に偏らない幅広い業種への貸出をしております。また、小口多数利用の原則を守り、特定のお客様に偏らない貸出姿勢に努めております。



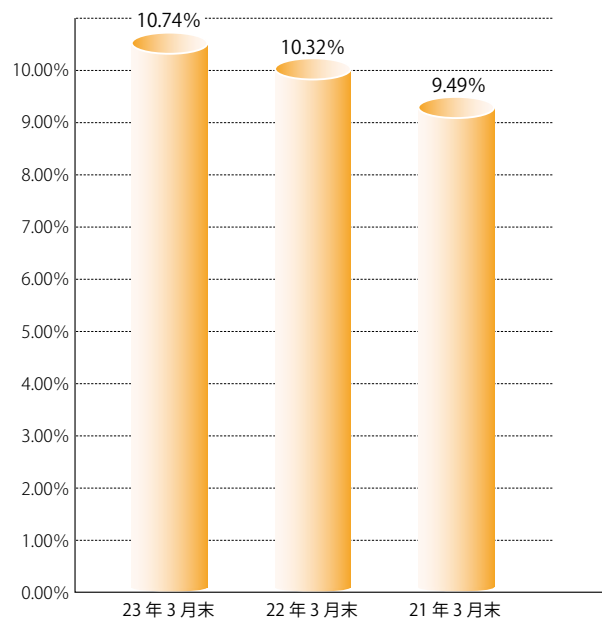
## ◆自己資本比率

平成23年9月末の自己資本比率は、10.85%で国内基準の4%を大きく上回っておりますので、どうぞご安心下さい。  
 ※なお、21年3月末決算から自己資本比率規制の一部弾力化特例を適用しております。

### ◆自己資本比率について



### ◆自己資本比率推移



(注) 半期開示における自己資本比率の算出は仮決算のため、前年及び前々年9月と比較しています。

国内基準の4%を大きく上回る水準の安定した自己資本比率で推移しています。

### 自己資本比率とは？

貸出金、保有する有価証券などの資産に占めるリスク額に対し、金融機関が保有する資本（出資金や積立金などの内部留保）がどれだけ占めるかを表したもので、金融機関の経営体力を見るうえで代表的かつ重要な指標となっています。**こましん**のように国内業務に特化している金融機関は、4%以上の達成が基準（国内基準）となっています。

## ◆自己資本の充実の状況（単体）

(単位：千円)

項目	平成23年9月期	平成23年3月期
基本的項目合計 (A)	5,889,501	5,771,242
補完的項目合計 (B)	232,629	236,089
自己資本総額〔(A) + (B)〕 (C)	6,122,131	6,007,331
〔リスク・アセット等〕計 (D)	56,411,739	55,911,888
総所要自己資本額 = D × 4%	2,256,469	2,236,475
単体 Tier 1比率 = (A / D) × 100	10.44%	10.32%
単体自己資本比率 (国内基準) = (C / D) × 100	10.85%	10.74%

(注) 自己資本比率は「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するための基準」（平成18年金融庁告示第21号）に定められた算式に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

(注) 平成21年3月期から自己資本比率規制の一部を弾力化する特例（平成20年金融庁告示第79号）に基づき「その他有価証券の評価差損」を基本的項目から控除しておりません。なお平成23年9月期の「その他有価証券の評価差損」の103,456千円を控除して計算した場合には、10.66%となります。

## ❖不良債権の状況

23年9月末時点において自己査定を実施した結果に基づいて不良債権処理を行い、仮決算に反映しております。  
貸出金等の与信額に占める不良債権の割合を示す不良債権比率は、23年9月末は、4.76%となっております。

### ◆金融再生法ベースの債権区分による開示債権及び保全状況

(単位：百万円、%)

区 分	開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による 回収見込額 (c)		貸倒引当金 (d)	保全率 (b) / (a)	引当率 (d) / (a) - (c)
			担保・保証等による 回収見込額 (c)	貸倒引当金 (d)			
金融再生法上の 不良債権	平成23年9月末	3,515	2,789	2,429	360	79.34	33.15
	平成23年3月末	3,646	2,967	2,563	403	81.37	37.27
破産更生債権及び これらに準ずる債権	平成23年9月末	586	586	521	64	100.00	100.00
	平成23年3月末	897	897	843	53	100.00	100.00
危険債権	平成23年9月末	1,581	1,388	1,097	290	87.78	60.08
	平成23年3月末	1,485	1,316	976	340	88.63	66.84
要管理債権	平成23年9月末	1,347	814	810	4	60.45	0.79
	平成23年3月末	1,263	753	743	10	59.60	1.92
正常債権	平成23年9月末	70,191					
	平成23年3月末	70,047					
合 計	平成23年9月末	73,706					
	平成23年3月末	73,694					

- (注) 1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。  
2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性が高い債権です。  
3.「要管理債権」とは、「3カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。  
4.「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権をいいます。  
5.「金融再生法上の不良債権」における「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。

## ❖有価証券の評価損益

### ◆満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：百万円)

区 分	平成23年9月末					平成23年3月末				
	貸借対照表 計上額	時価	差額	うち益	うち損	貸借対照表 計上額	時価	差額	うち益	うち損
国 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地 方 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
短 期 社 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社 債	599	587	△ 12	0	12	599	586	△ 12	1	14
そ の 他	2,099	1,724	△ 374	0	374	2,199	1,840	△ 358	0	359
合 計	2,699	2,312	△ 386	0	387	2,799	2,427	△ 371	1	373

- (注) 1.時価は、評価時点における市場価格等に基づいております。  
2.「その他」は外国証券です。

単位未満切捨て

### ◆その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

区 分	平成23年9月末					平成23年3月末				
	取得原価 (償却原価)	貸借対照表 計上額	評価差額	うち益	うち損	取得原価 (償却原価)	貸借対照表 計上額	評価差額	うち益	うち損
株 式	564	440	△ 123	34	158	554	613	58	147	88
債 券	16,560	16,664	104	128	23	14,611	14,652	41	76	35
国 債	1,736	1,772	36	37	1	3,737	3,747	10	15	4
地 方 債	1,818	1,831	13	13	0	2,302	2,308	5	6	0
短 期 社 債	499	499	0	—	0	499	499	0	—	0
社 債	12,506	12,561	54	76	21	8,071	8,096	24	54	29
そ の 他	4,438	4,353	△ 84	0	84	2,924	2,878	△ 55	0	56
合 計	21,563	21,459	△ 103	162	266	18,090	18,134	44	224	180

- (注) 1.貸借対照表計上額は、評価時点における市場価格等に基づいております。  
2.「その他」は証券投資信託及び外国証券等です。  
3.取得原価とはアモチゼーション、アキュムレーション実施後の価格です。

単位未満切捨て

※子会社・関連会社株式は該当ございません。

## こましんと地域社会

### 地域社会の活性化を目指して

シグマバンクグループ（当金庫、足立成和、亀有、東榮）による社会貢献活動に参加するほか、こましん独自の社会貢献活動として質の高いCSR（企業の社会的責任）の実現に向け、地域社会との絆を大切にしております。今後も地域振興、社会福祉事業、環境問題等への取り組みを地域社会の一員として積極的に行ってまいります。

#### ●環境問題対応・子育て支援に対応した商品の開発

環境問題に対応する融資商品として「エコカー購入特別プラン」、「エコリフォームプラン」をご用意しております。

子育て支援の一環としての融資商品「教育資金応援特別プラン」のほか、預金商品として子育て世代を対象にお様の人数に応じて金利を上乗せる「ファミリー定期積金」をご用意しております。

これらの預金・融資商品は、平成23年11月現在、好評取り扱い中であります。

今後も環境問題対応・子育て支援に対応した新商品開発を通じて地域社会への貢献に努めてまいります。



#### ●経営改善支援

経営改善支援専門部署を設け、専任担当者による取引先の経営改善に取り組んでおります。信金中央金庫との連携のほか、当金庫の費用負担により外部の中小企業診断士を活用し、営業店と連携しながら積極的な支援活動を行っております。

今年度においては、平成23年度より開始された東京都の事業である「経営革新アシストプログラム」の活用や経済産業局の「中小企業支援ネットワーク強化事業」の活用等、外部機関を使用することにより専門性の高い企業支援ができる体制を図っております。

#### ●こましん経営者会・こましんビジネス研究会・レディースクラブ

こましんでは、従来の「こましん合同研修会」を継承した「こましん経営者会」の他、若手経営者育成のお手伝いを目的とした「こましんビジネス研究会」を新たに発会し、取引先企業のお役に立つ情報発信に努め、参加企業間の親睦を図る取り組みを実施しております。

また、全店舗において女性だけのメンバーによる「レディースクラブ」を発会し、旅行・観劇会などの活動を通して交流の輪を広げています。これまでに2回全店合同となる「お楽しみ会」を開催しております。

#### ●荒川クリーンエイドへの参加

荒川河川敷のゴミを調査・回収するボランティア活動を行い、調査結果を報告集にまとめて、河川ゴミの削減や水質浄化を広く一般に呼びかけるイベントです。平成23年



6月4日に、109名の役職員が参加・協力し、自然にふれあうことを通じて地球環境を守ることの大切さを学びました。今後も積極的に参加してまいります。

#### ●「エコキャップ収集活動」の推進

「地球に愛を子どもに愛を」というNPO法人エコキャップ推進協会の取り組みに賛同して、発展途上国へワクチンを届ける「エコキャップ収集活動」を積極的に推進しております。各店舗にお客様からのご協力が頂けるように回収ボックスを設置しております。より多くのワクチンを発展途上国へ届ける活動をこれからも続けていきますので、尚一層のご協力をお願いいたします。（23年9月末時点で約153万個、ワクチン1,900人超の回収実績。）



#### ●「クールビズ」及び「節電対策」の実施

こましんでは、昨夏比15%以上の使用最大電力の削減を目標に節電のための各種施策を実施しました。そのひとつとして、「クールビズ」を実施し、平成23年5月20日から10月31日まで、店舗・事務室の冷房を室温28℃に設定して、期間中ノーネクタイでの営業を行いました。今後も継続的に実施してまいります。

#### ●土曜ローン相談会

日頃お忙しい方のために、毎月第2土曜日に本店営業部において「土曜ローン相談会」を開催し、融資担当者がお客様のご相談にお応えしております。是非お気軽にご相談ください。ご来店をお待ちしております。

#### ●無料年金相談会

年金相談業務の専任担当者が直接お客様と面談し、年金に関する様々なご相談に対応させていただいております。

また毎月2回、営業店において外部の社会保険労務士と提携して「無料年金相談会」を開催し、年金受給手続きのお手伝いをさせていただいております。是非、お気軽にご相談ください。

## ●●● お客様とともに ●●●

### ●地域行事への積極的な参加

毎年恒例の「小松川・平井ふるさと祭り」「旧中川灯籠流し」「小松川・平井青年カーニバル」「小松川千本桜まつり」は、地元住民の皆様と一層の親睦を深めることが出来る行事として積極的に参加させていただいております。

その他の祭り・イベントにも多数のこましん役職員が参加しております。



### ●第28回こましん会合同ゴルフ大会を開催

合同ゴルフ大会は、日頃営業店単位で活動しております「こましん会」の交流の場として、毎年1回実施している行事で、競技を通してお客様同士の親交を深めていただいております。平成23年10月7日に28回目の大会を開催いたしました。



### ●「白川郷と名旅館を巡る旅」実施

平成23年10月5日から28日まで6班に分けて、「白川郷と名旅館を巡る旅」を実施しました。多数のお客様にご参加いただき、世界遺産である白川郷の景観と北陸の名旅館の心のこもったサービスを満喫していただきました。



## ●●● シグマバンクの活動について ●●●

シグマバンクグループは城東地区4信用金庫（当金庫、足立成和、亀有、東栄）の業務提携により、競争力強化や効率経営を目指し、お客様により良い新しい金融サービスをご提供できるようネットワークを結び、スクラムを組んでおります。また、シグマバンクグループでは業務提携10周年を記念して、お客様に末永く愛される新キャラクターを現在考案中であります。乞うご期待ください。

### ●ビジネス交流会の開催

シグマバンクグループでは、平成23年8月4日、東武ホテルレバント東京にて第3回「ビジネス交流会」を開催いたしました。

当日は、参加企業約250社（うちブース出展企業44社）、来場者500人超を集め、シグマバンク取引先企業間で熱の入った商談が行われました。



### ●社会福祉協議会へ福祉車両を寄贈

シグマバンクグループでは、地域貢献活動の一環として、平成23年10月から12月にかけて足立区、江戸川区、葛飾区、三郷市、八潮市の各社会福祉協議会に福祉車両の寄贈を実施します。今後も地域社会貢献のため、今まで以上にグループ各金庫が協力してまいります。



### ●地域貢献献血活動の実施

シグマバンクグループの地域貢献活動の一環として当金庫においては、これまでに8回の「献血活動」を開催し、地元の皆様と多数の職員が参加・協力いたしました。今後も継続的に実施してまいります。

### ●新現役交流会の開催

シグマバンクグループでは、新たな取り組みとして平成21年度より、取引先企業が抱える



課題解決支援の一助として「新現役（企業を退職されたOBの方等）と取引先企業の求める「人材マッチング」のお手伝いをする「新現役交流会」を開催しております。

こましんでは、平成23年1月19日及び7月6日にタワーホール船堀にて開催し、多くの企業にご参加いただき活気溢れる交流会となりました。7月の開催では、参加企業18社のうち7社・8件の成約実績をあげております。

# 東日本大震災支援への取り組み

こましんでは、(社)全国信用金庫協会・(社)東京都信用金庫協会の呼びかけに賛同し、東日本大震災で被災された被災地の皆様及び被災地信用金庫への支援の一助となるよう義援金及び支援物資を提供させていただいたほか、全役職員が救援募金活動に参加しました。

又、今回の震災により遺児となってしまった子供たちを支援するため、平成23年6月15日～8月15日まで「震災遺児支援定期預金」を販売し、20億6千1百万円超の実績をあげることができました。平成23年9月14日に当金庫の羽下理事長が「あしなが育英会」本部を訪問し、「震災遺児支援定期預金」実績額の0.05%に相当する1,030,888円を寄付させていただきました。

さらに、今回の震災で被災された地域の復旧・復興を支援するため、平成23年6月15日～9月30日まで「震災復興支援定期積金」を販売し、15億円超の実績をあげることができました。この商品は信金中央金庫との提携商品であり、募集契約高の0.25%相当額を義援金として信金中央金庫から中央共同募金会を通じて今年度中に被災地に寄付をさせていただく予定です。

今回の商品販売で、多数のお客様の温かいご協力をいただきました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。



あしなが育英会に寄付

## ネットワーク

本部	〒132-8711	東京都江戸川区平井6-23-23	03(3617)1326
本店営業部	〒132-8711	東京都江戸川区平井6-23-23	03(3617)1201
平井支店	〒132-0035	東京都江戸川区平井4-8-1	03(3683)0581
菅原橋支店	〒133-0043	東京都江戸川区松本1-25-16	03(3652)3136
奥戸支店	〒124-0022	東京都葛飾区奥戸2-41-17	03(3696)0351
東四つ木支店	〒124-0014	東京都葛飾区東四つ木4-25-12	03(3696)1781
中平井支店	〒132-0035	東京都江戸川区平井6-51-18	03(3611)6011
市川南支店	〒272-0031	千葉県市川市平田4-3-4	047(378)2711
鹿骨支店	〒133-0073	東京都江戸川区鹿骨3-16-1	03(3698)1711
亀戸支店	〒136-0071	東京都江東区亀戸5-44-7	03(3682)0031
篠崎支店	〒133-0061	東京都江戸川区篠崎町6-15-21	03(3676)5941



小松川信用金庫

<http://www.komashin.co.jp/>